

---

# 静岡県内のアーティスト等の活動環境および コミュニティに関するアンケート調査報告書

---

令和7年5月

アーツカウンシルしずおか

# 目 次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1 調査概要.....                | 2  |
| 1) 調査目的.....               | 2  |
| (2) 調査対象.....              | 2  |
| (3) 調査方法.....              | 2  |
| (4) 調査期間.....              | 2  |
| (5) 調査内容.....              | 2  |
| (6) 報告書の見方.....            | 2  |
| 2 調査結果.....                | 3  |
| 回答者について.....               | 3  |
| 文化芸術活動を継続するための環境について ..... | 8  |
| 文化芸術以外の分野との連携について .....    | 19 |
| 地域部活について.....              | 26 |
| アーツカウンシルしずおかについて .....     | 28 |
| 3 調査票.....                 | 31 |

# 1 調査概要

## 1) 調査目的

静岡県内に拠点をおくアーティスト等が、表現活動が続けていくために求めていること、文化芸術以外の分野との連携に関する関心や意見を集め、アーツカウンシルしずおかの事業への反映や、関係各所への提案や提言に活かす。

## (2) 調査対象

静岡県内に拠点をおくアーティスト等

文化芸術の創作発表を行う人

文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統文化、生活文化、デザイン・建築・ファッション等の作品を創作、発表を行う人

文化芸術の企画制作を行う人

文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統文化、生活文化、デザイン・建築・ファッション等に関するプロデューサー、ディレクター、キュレーター、アートマネージャー、コーディネーター、プロモーター、編集者等

## (3) 調査方法

インターネット調査

(県内のアート団体を通じた回答の呼びかけを実施)

## (4) 調査期間

2025年2月21日(金)～3月24日(月)

## (5) 調査内容

ア 文化芸術活動を継続するための環境について

イ 文化芸術以外の他分野との連携について

## (6) 報告書の見方

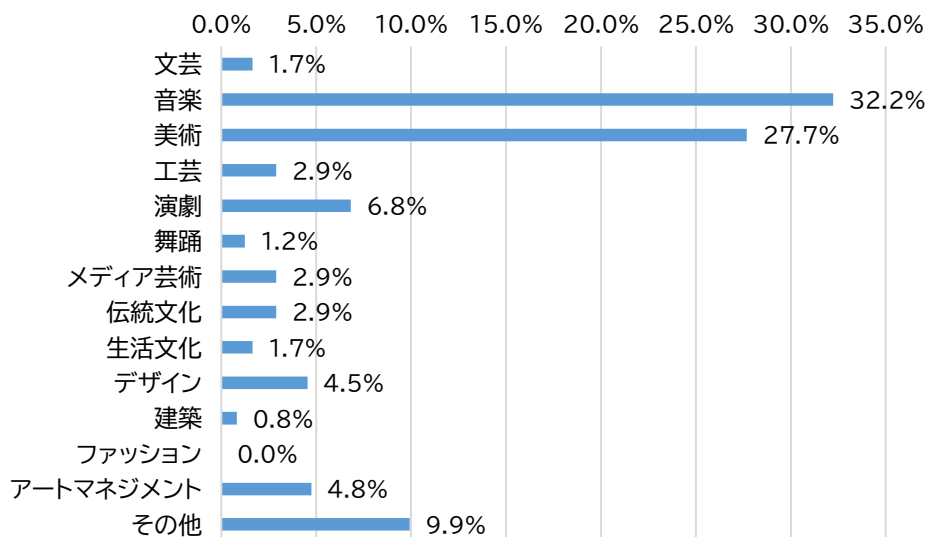
- ・図表中の「n」は、その設問に対する回答者数を表します。小数点1位まで示した数値は、回答比率(%)です。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計は通常100.0%を超えます。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表の中で省略した表現を用いています。
- ・図表の見やすさを考慮して、一部の図表では数値を省略していることがあります。

## 2 調査結果

### 回答者について

#### 1)あなたが専門とする文化芸術活動の分野をひとつだけお答えください

(n=484)



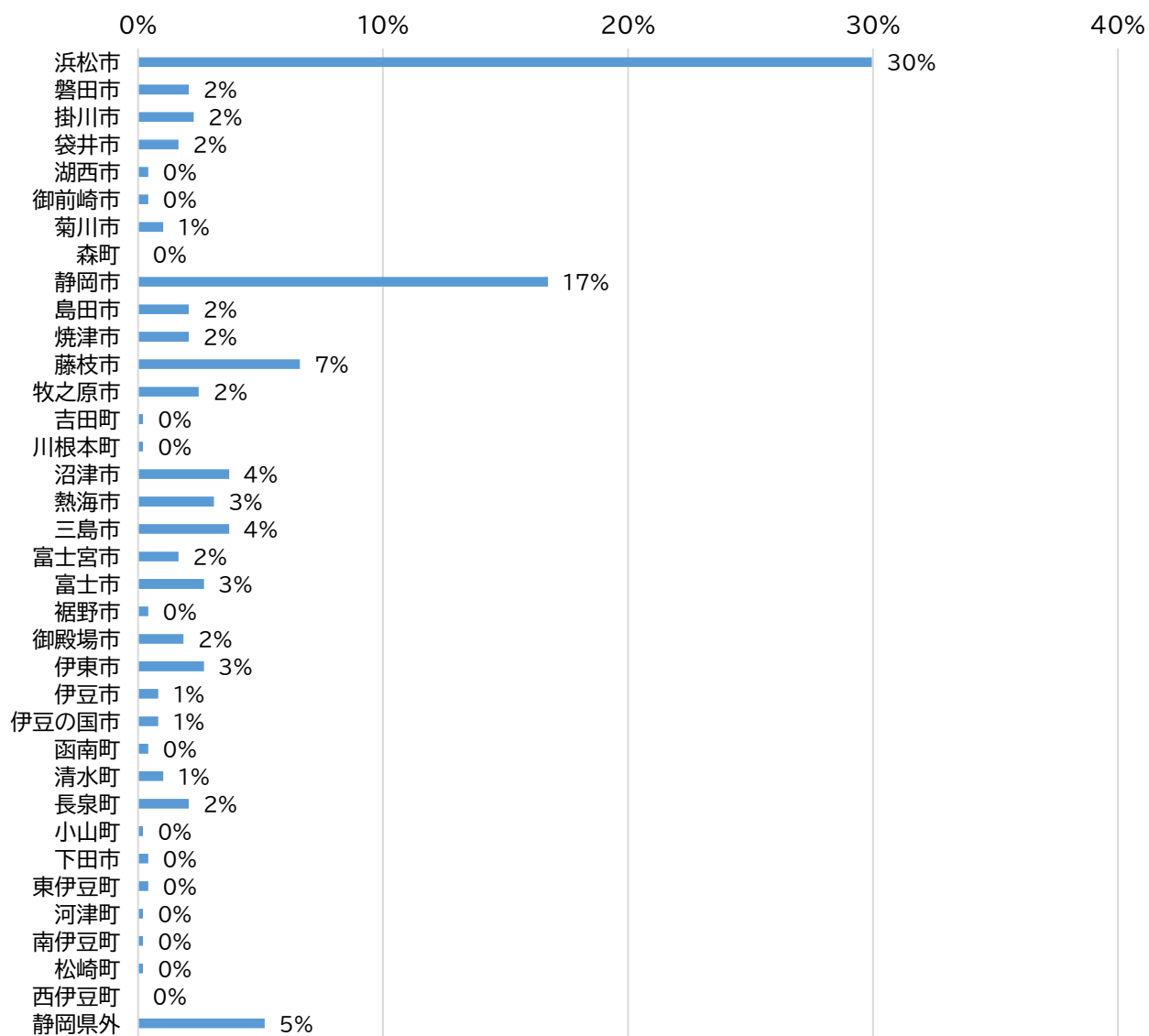
※複数の項目にまたがる場合は、回答者の主観による

【参考】（文化芸術基本法第10条、第12条より）

- ・ 伝統芸能：雅楽，能楽，文楽，歌舞伎，組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能
- ・ 生活文化：茶道，華道，書道，食文化その他の生活に係る文化

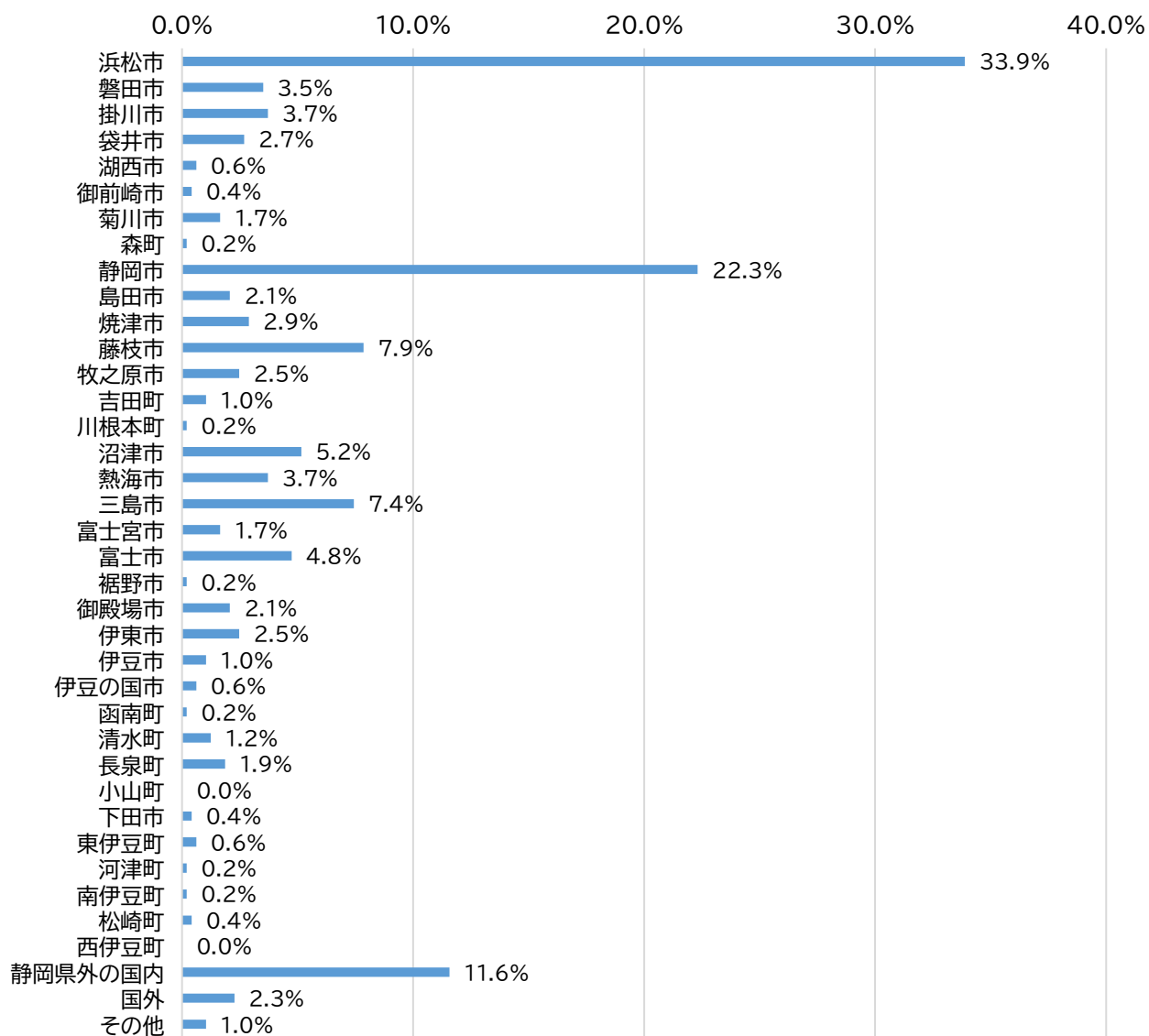
## 2)現在のお住まいをお答えください

(n=484)



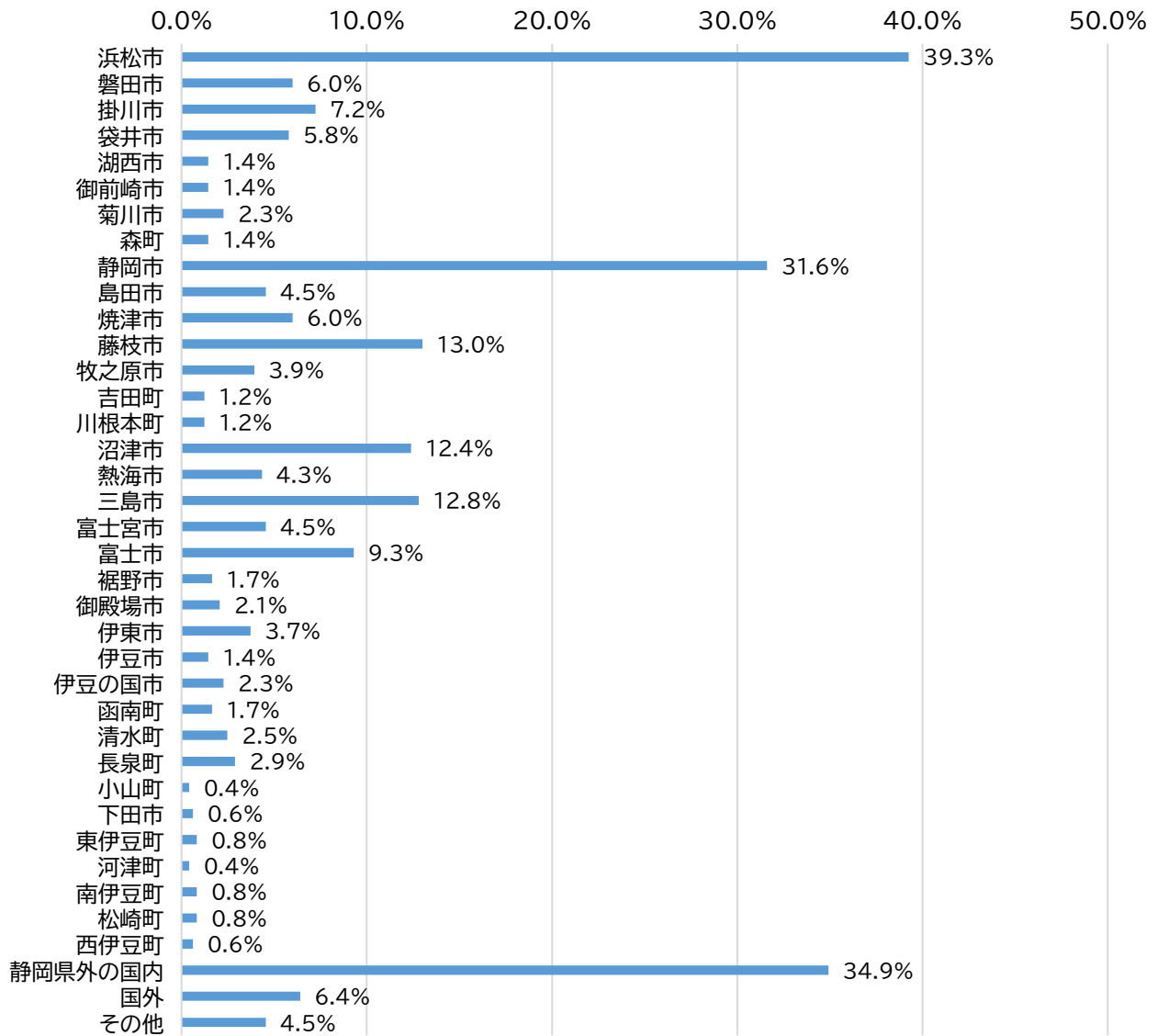
3)制作拠点があるところを選択してください(複数選択可)

(n=484)



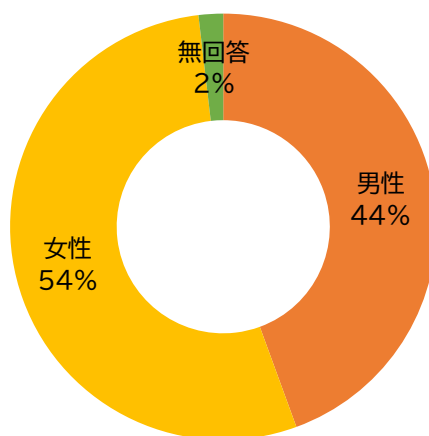
4)作品発表や公演等を行っている主な地域を選択してください(複数選択可)

(n=484)



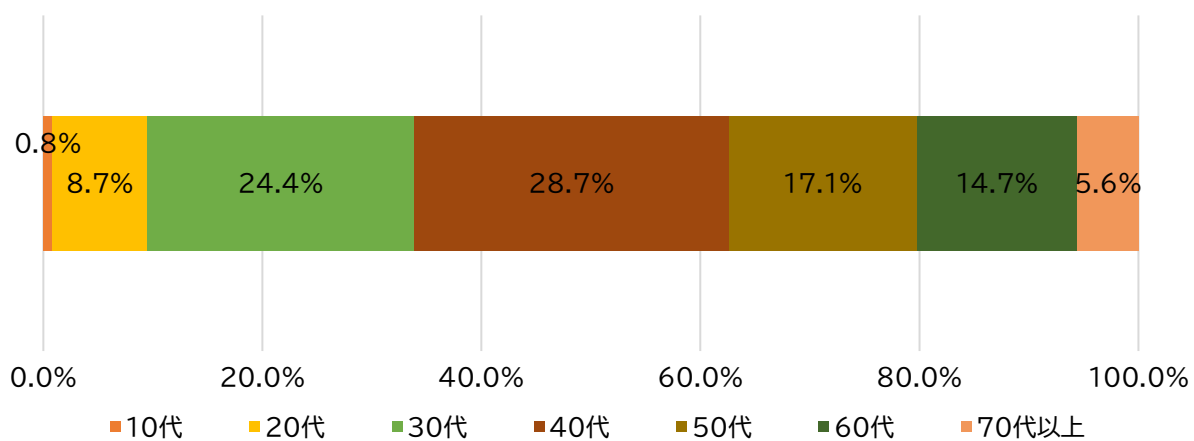
5)あなたの性別をお答えください

(n=484)



6)あなたの年齢をお答えください

(n=484)

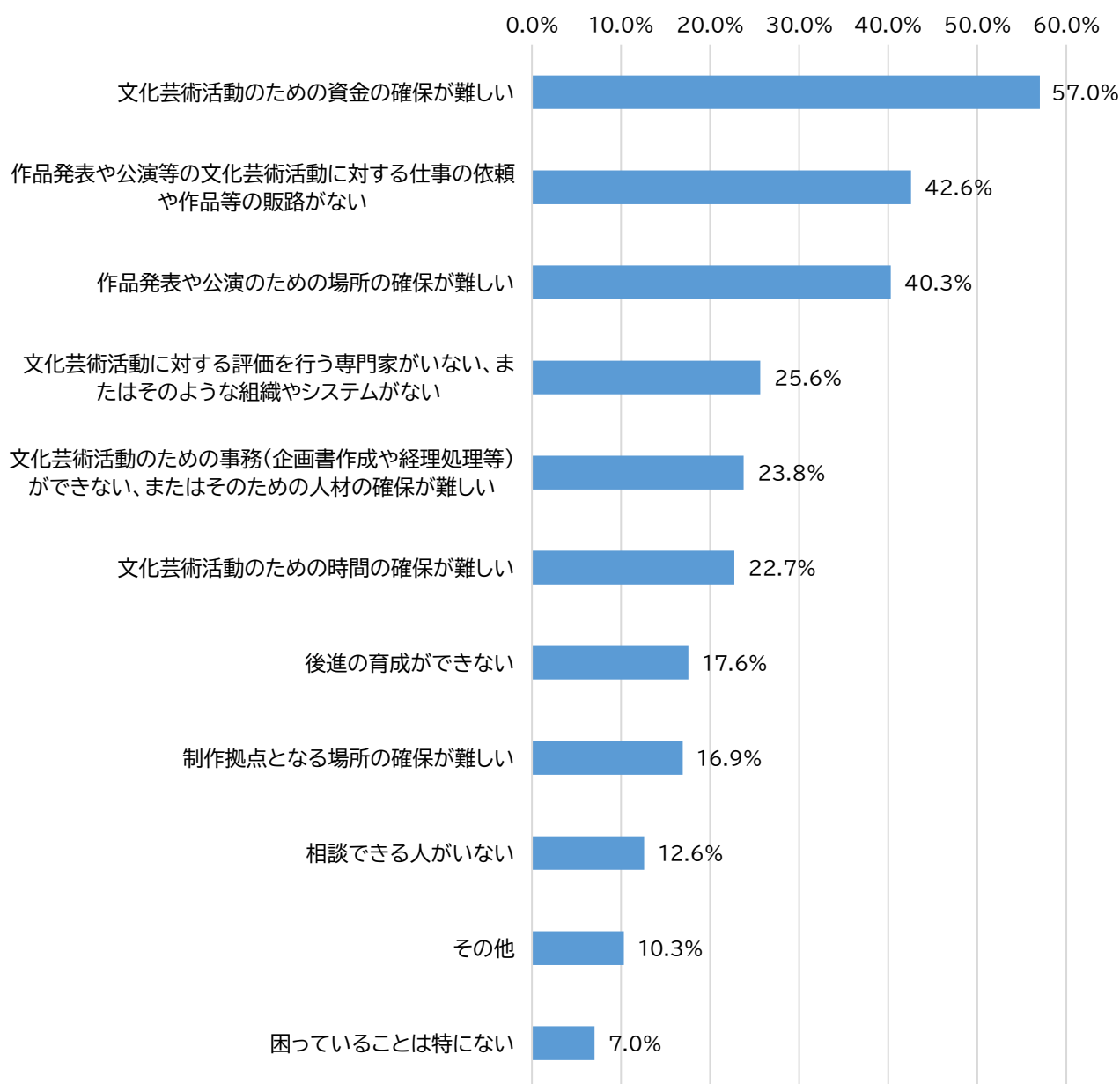




## 文化芸術活動を継続するための環境について

7) 現在の環境下で文化芸術活動を続けていく際に感じている課題について教えてください（複数選択可）

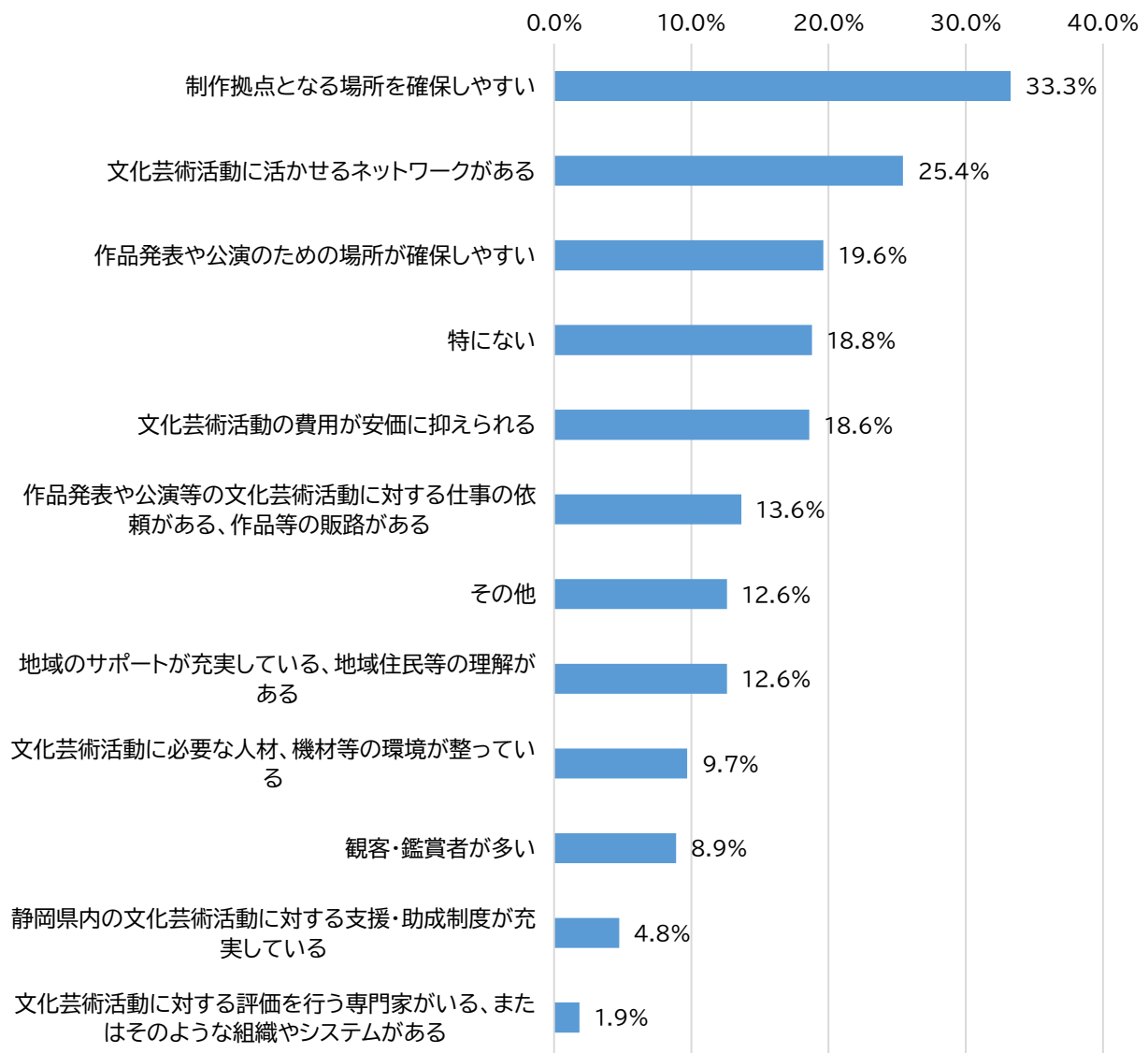
(n=484)



文化芸術活動を続けていく際に感じている課題については、「文化芸術活動のための資金の確保が難しい」が57.0%で最も多くなっています。ついで、「作品発表や公演等の文化芸術活動に対する仕事の依頼や作品等の販路がない」が42.6%、「作品発表や公演のための場所の確保が難しい」がそれぞれ40.3%となっています。

## 8) 静岡県内で活動するメリットをどのように捉えていますか（複数選択可）

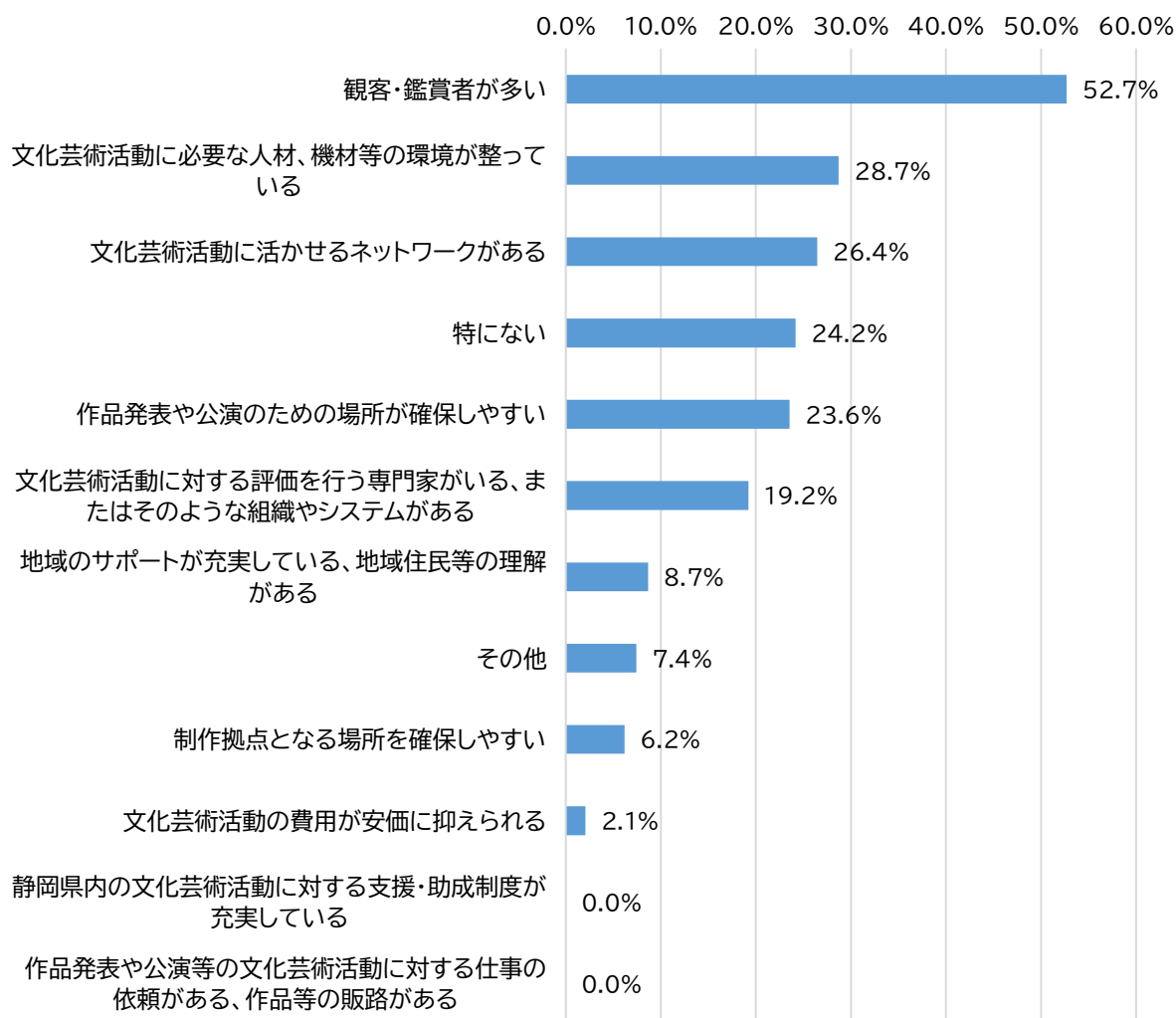
(n=484)



静岡県内で活動するメリットについては、「制作拠点となる場所を確保しやすい」が33.3%で最も多くなっています。ついで、「文化芸術活動に活かせるネットワークがある」が25.4%、「作品発表や公演のための場所が確保しやすい」が19.6%となっています。

9) 静岡県外で活動するメリットをどのように捉えていますか（複数選択可）

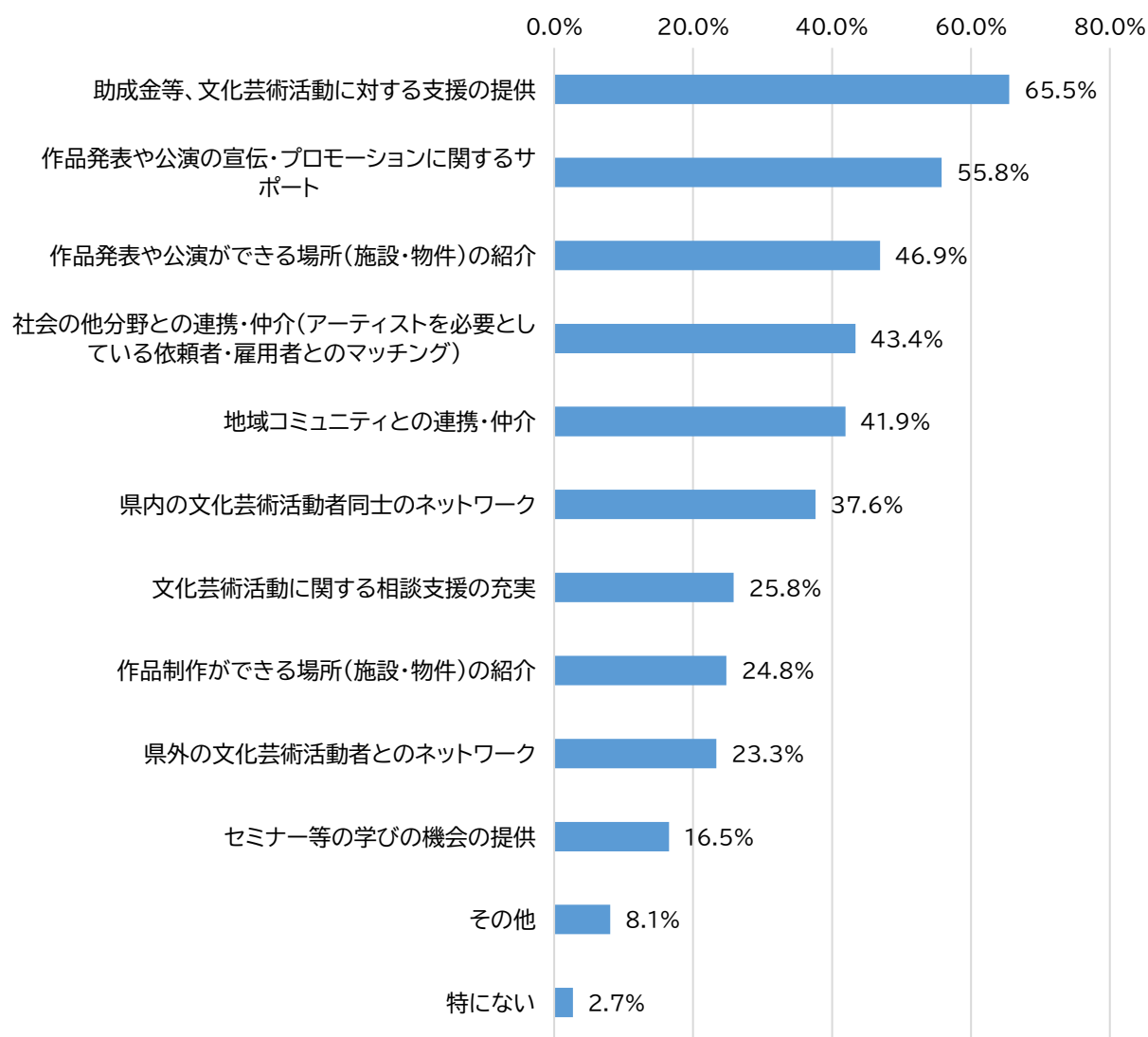
(n=484)



静岡県外で活動するメリットについては、「観客・鑑賞者が多い」が52.7%で最も多くなっています。ついで、「文化芸術活動に必要な人材、機材等の環境が整っている」が28.7%、「文化芸術活動に活かせるネットワークがある」が26.4%となっています。

10) 静岡県内で活動を継続するためにはどのようなサポートを希望しますか（複数選択可）

(n=484)

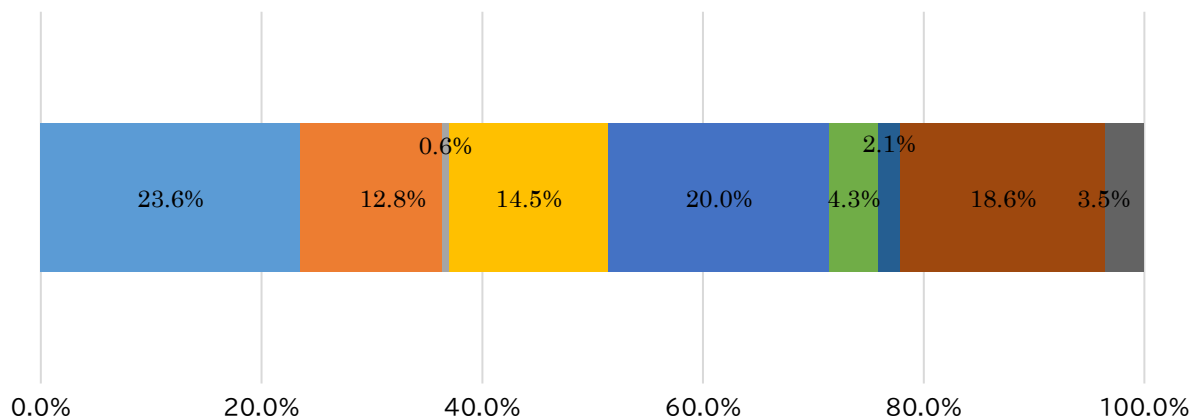


静岡県内で活動を継続するために希望するサポートについては、「助成金等、文化芸術活動に対する支援の提供」が65.5%で最も多くなっています。ついで、「作品発表や公演の宣伝・プロモーションに関するサポート」が55.8%、「作品発表や公演ができる場所(施設・物件)の紹介」が46.9%となっています。

11) 活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

### 優先度 1

(n=484)



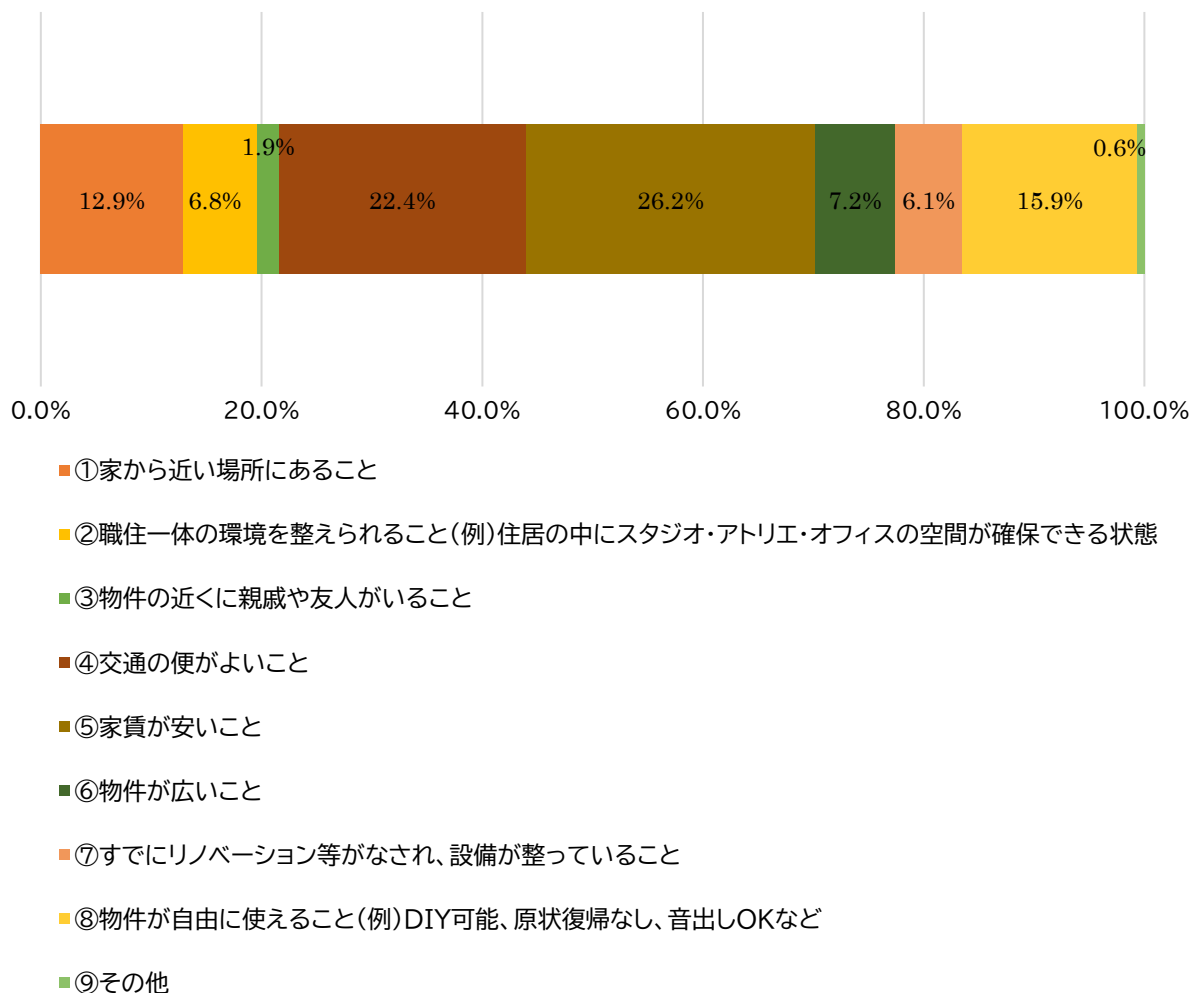
- ①家から近い場所にあること
- ②職住一体の環境を整えられること(例)住居の中にスタジオ・アトリエ・オフィスの空間が確保できる状態
- ③物件の近くに親戚や友人がいること
- ④交通の便がよいこと
- ⑤家賃が安いこと
- ⑥物件が広いこと
- ⑦すでにリノベーション等がなされ、設備が整っていること
- ⑧物件が自由に使えること(例)DIY可能、原状復帰なし、音出しOKなど
- ⑨その他

活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することについて、優先度1では、「①家から近い場所にあること」が23.6%で最も多くなっています。ついで、「⑤家賃が安いこと」が20.0%、「⑧物件が自由に使えること(例)DIY可能、原状復帰なし、音出しOKなど」が18.6%となっています。

11) 活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

## 優先度 2

(n=473)

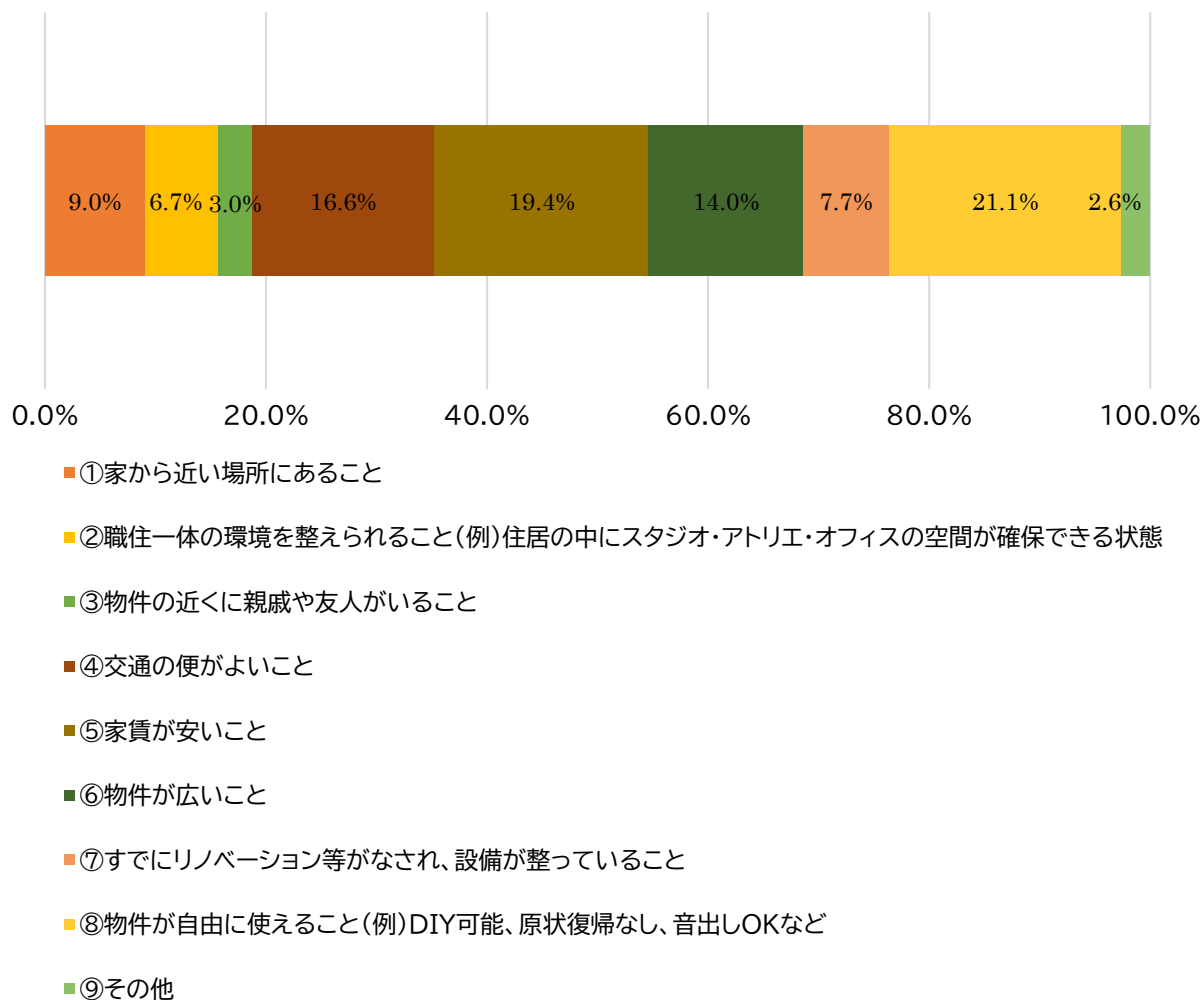


活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することについて、優先度2では、「⑤家賃が安いこと」が26.2%で最も多くなっています。ついで、「④交通の便がよいこと」が22.4%、「⑧物件が自由に使えること(例)DIY可能、原状復帰なし、音出しOKなど」が15.9%となっています。

11) 活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

### 優先度3

(n=465)

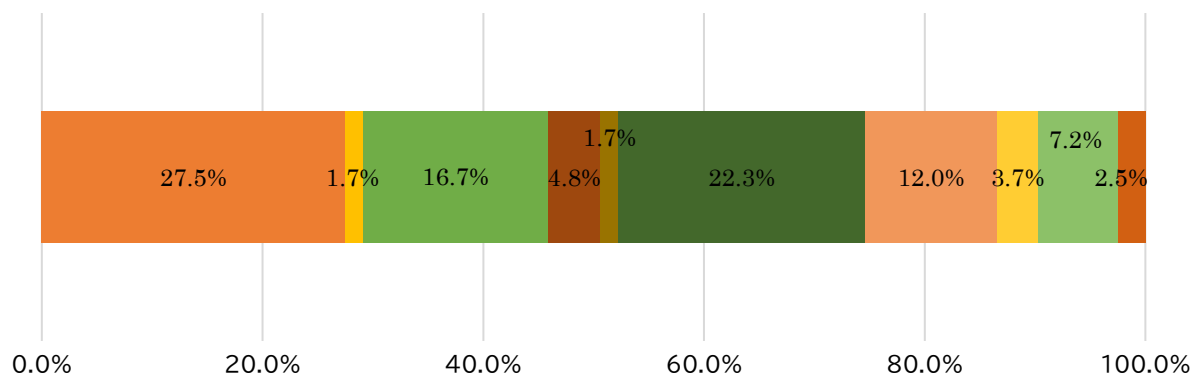


活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することについて、優先度3では、「⑧物件が自由に使えること(例)DIY可能、原状復帰なし、音出しOKなど」が21.1%で最も多くなっています。ついで、「⑤家賃が安いこと」が19.4%、「④交通の便がよいこと」が16.6%となっています。

12) 活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

### 優先度 1

(n=484)



- ① 家から近い場所にあること
- ② 物件の近くに親戚や友人がいること
- ③ 交通の便がよいこと
- ④ 近くにアーティスト等のコミュニティがあること
- ⑤ 近くにスタートアップやソーシャルビジネスのコミュニティがあること
- ⑥ 地域の人々が文化芸術活動に理解があること
- ⑦ アートプロジェクトが活発な地域であること
- ⑧ 歴史や文化が残る地域であること
- ⑨ 自然豊かな地域であること
- ⑩ その他

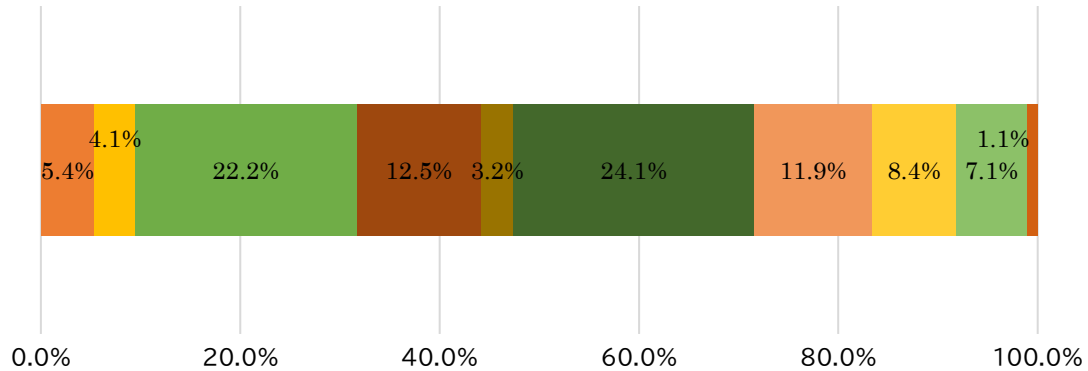
活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することについて、優先度1では、「①家から近い場所にあること」が27.5%で最も多くなっています。ついで、「⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること」が22.3%、「③交通の便がよいこと」が16.7%となっています。



12) 活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

## 優先度 2

(n=464)



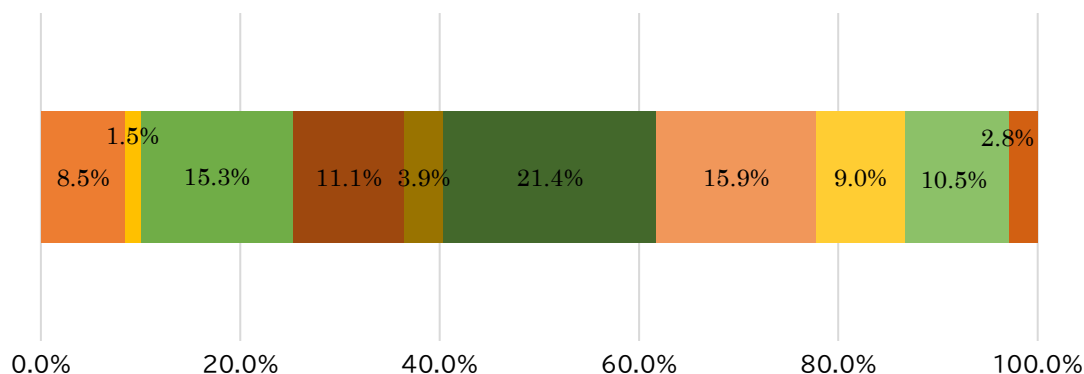
- ①家から近い場所にあること
- ②物件の近くに親戚や友人がいること
- ③交通の便がよいこと
- ④近くにアーティスト等のコミュニティがあること
- ⑤近くにスタートアップやソーシャルビジネスのコミュニティがあること
- ⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること
- ⑦アートプロジェクトが活発な地域であること
- ⑧歴史や文化が残る地域であること
- ⑨自然豊かな地域であること
- ⑩その他

活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することについて、優先度2では、「⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること」が24.1%で最も多くなっています。ついで、「③交通の便がよいこと」が22.2%、「④近くにアーティスト等のコミュニティがあること」が12.5%となっています。

12) 活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください

### 優先度3

(n=458)

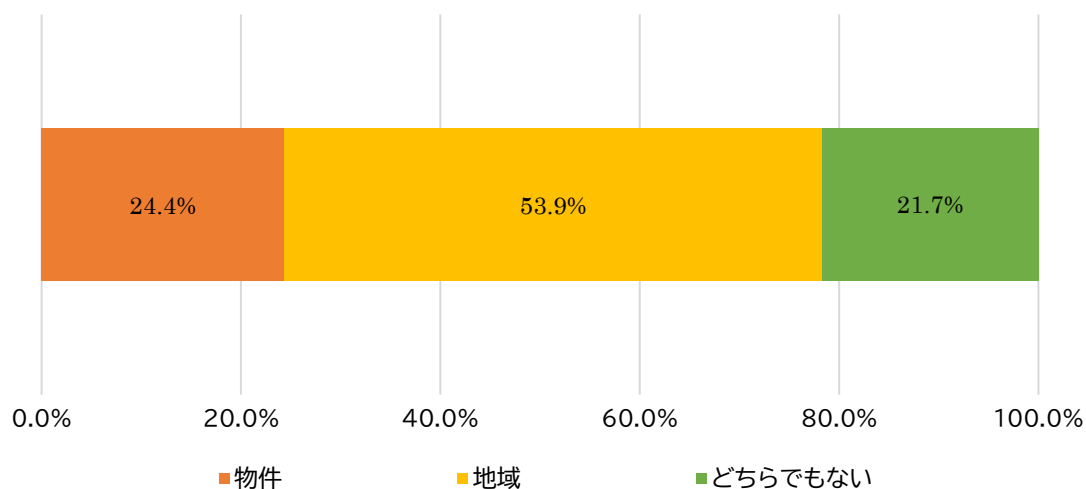


- ①家から近い場所にあること
- ②物件の近くに親戚や友人がいること
- ③交通の便がよいこと
- ④近くにアーティスト等のコミュニティがあること
- ⑤近くにスタートアップやソーシャルビジネスのコミュニティがあること
- ⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること
- ⑦アートプロジェクトが活発な地域であること
- ⑧歴史や文化が残る地域であること
- ⑨自然豊かな地域であること
- ⑩その他

活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することについて、優先度3では、「⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること」が21.4%で最も多くなっています。ついで、「⑦アートプロジェクトが活発な地域であること」が15.9%、「③交通の便がよいこと」が15.3%となっています。

### 13) 制作場所・活動場所を選ぶ上でどちらを優先しますか

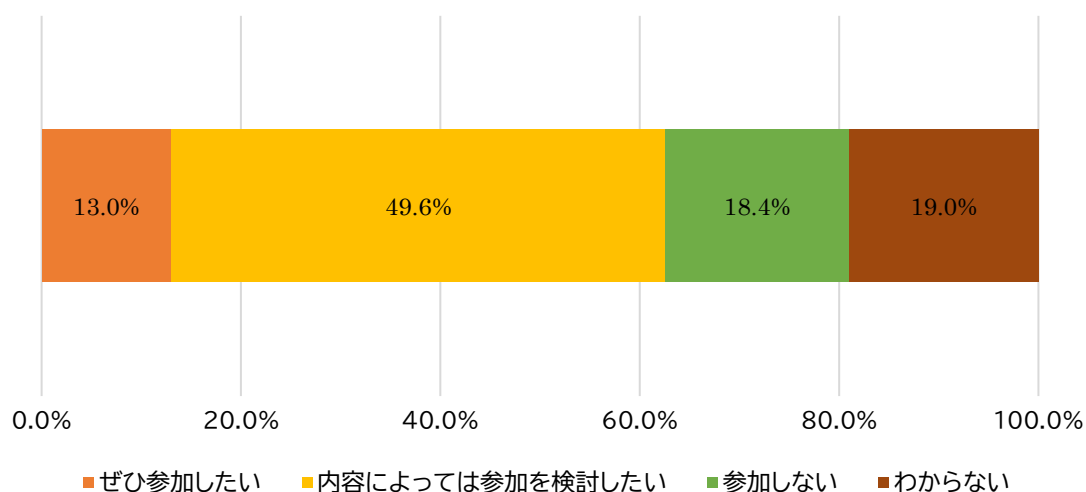
(n=484)



制作場所・活動場所を選ぶ上で優先することについては、「地域」が53.9%、「物件」が24.4%と、回答者は「地域」を重視して選んでいます。

### 14) 活動拠点として使用できる空き家を紹介するツアーがあれば参加したいと思いますか

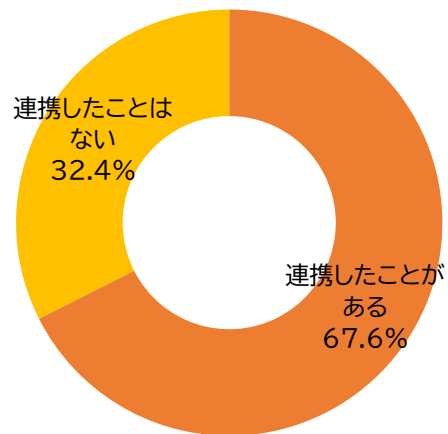
(n=484)



空き家を紹介するツアーがあれば参加するかについては、「内容によっては参加を検討したい」が49.6%、「ぜひ参加したい」が13.0%と、回答者の6割以上が参加への意欲を示しています。

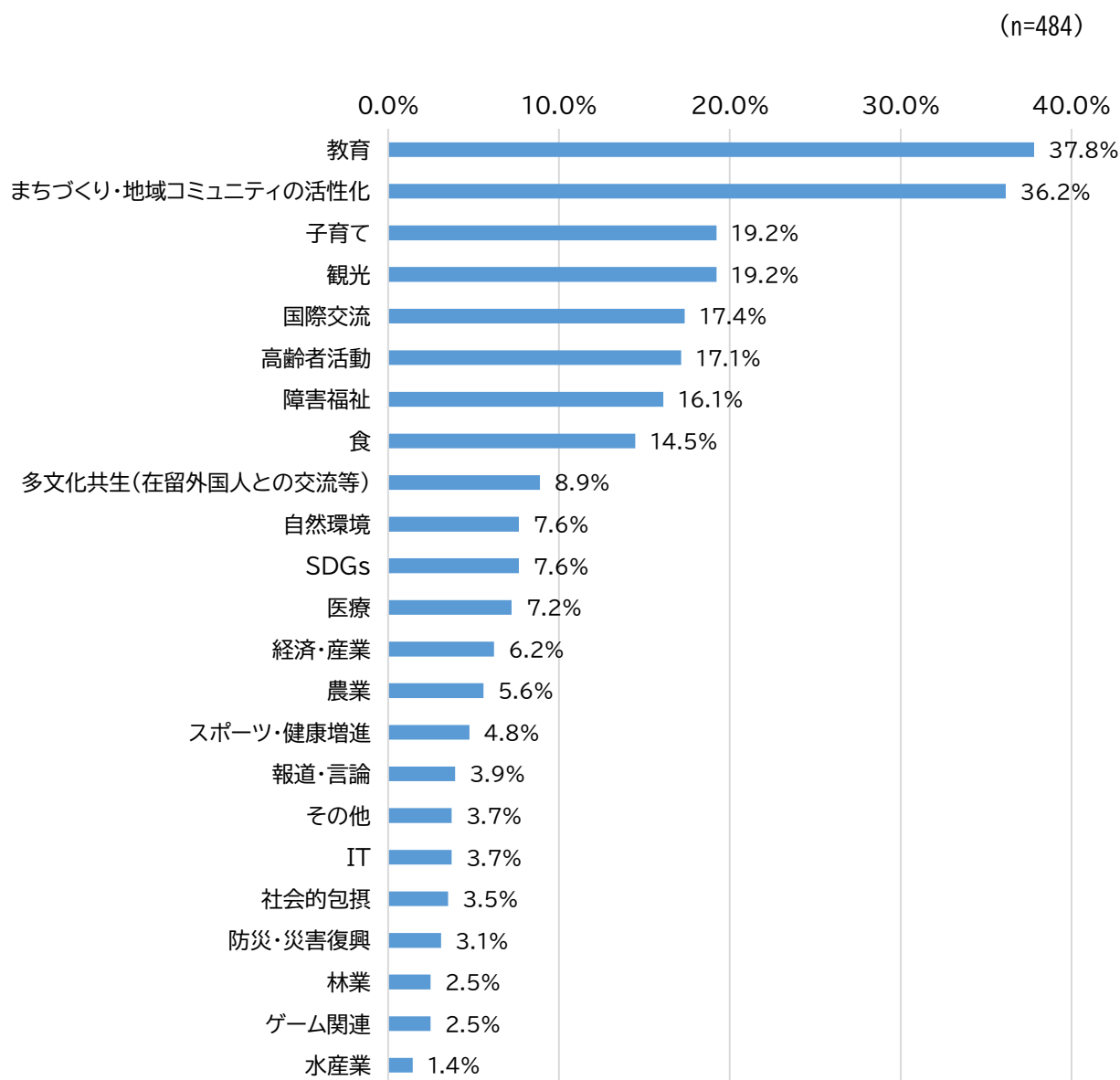
15) これまでに他分野と連携した経験はありますか

(n=484)



他分野と連携した経験があるかについては、「連携したことがある」が67.6%、「連携したことはない」が32.4%と、回答者の7割近くが他分野と連携した経験を持っています。

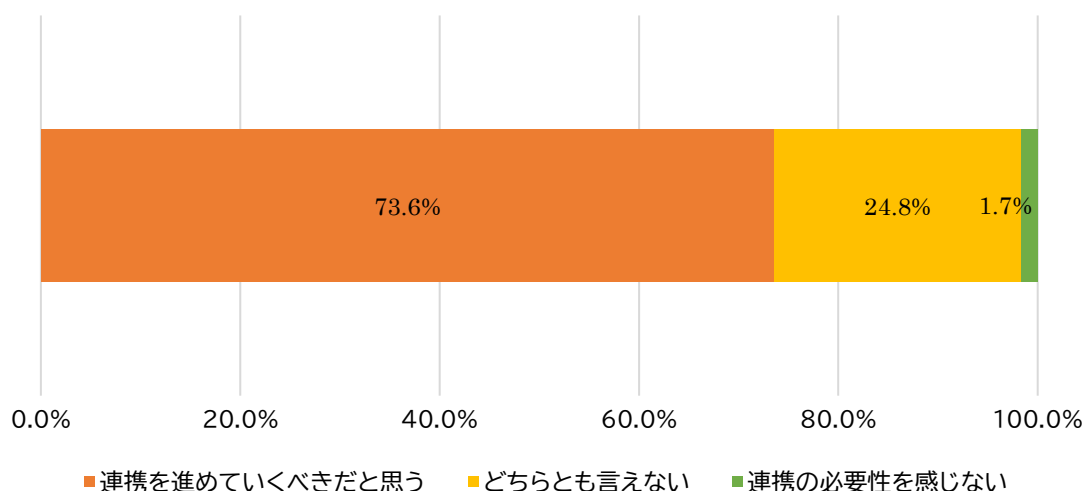
16) 15で「連携したことがある」と答えた方に質問です。すでに連携したことがある分野は何ですか。(複数回答可)



すでに連携したことがある分野については、「教育」が37.8%で最も多くなっています。ついで、「まちづくり・地域コミュニティの活性化」が36.2%、「子育て」「観光」が19.2%となっています。

17)文化芸術は他分野との連携を進めていくべきだと思いますか、併せてその理由を教えてください

(n=484)



文化芸術は他分野との連携を進めていくべきだと思うかについては、「連携を進めていくべきだと思う」が73.6%、「どちらとも言えない」が24.8%と、回答者の7割以上が「連携を進めていくべき」だと思っています。

#### 理由(自由記述、一部抜粋)

| 連携を進めていくべきだと思う                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化芸術という表現分野は、誰であれ、どこであれ、どんな時代においても、人が生きる上での社会創造活動には欠くことのできないものであり、他分野との連携は必然であると考えます。                                                                                                          |
| ジャンルを問わず互いの分野に関心を持つことは新たな価値観を得られるきっかけになるから                                                                                                                                                     |
| 文化芸術が地域の治安や人々の会話、コミュニケーションの土台になると信じているから                                                                                                                                                       |
| 文化芸術を趣味の領域として行うのであれば、社会との接点を考える必要はないと思うが(もちろん考えてもいいし考えるのも自由だが)、職業として行うのであれば、その職業が社会にとってなぜ必要なのか、どのように社会との接点を持つのか、どのように社会に貢献するのか、などは、職業倫理として持つべき視点だと思うため、その視点を持ち活動する場合、他分野との連携は必然的に行われるものと考えている。 |
| 文化芸術の目的は人がよりよく生きて行くためにあると思うので、そのためには他分野との連携が不可欠。特定のジャンルだけを掘り進めるメリットもあるが、視野が狭くなってゆくというデメリットがつきまとう。掛け算をしてゆくことで、双方に広がりが見られる。                                                                      |
| 進めていくべきという「べき」ということを問うことが、芸術を孤立させているのではないのでしょうか。常に連携せざるを得ない、あるいは連携しないことがありえるのかと逆に疑問を持ちます。                                                                                                      |
| 日々が芸術そのものであること、アーティストだけが芸術家ではないこと、自らの創造性を発見自覚する人が増えることは社会的健康へも繋がると思う                                                                                                                           |
| 他分野と連携を進めていくことで、認知度を高めるだけでなく、活動の幅を広げ、新たな発想を生み出すきっかけにもなると思います。例えば、観光や地域振興と結びつけられれば、文化芸術を活かした新たな地域ブランディングが可能になります。また、テクノロジーと掛け合わせることで、デジタルアートやVRを活用した新しい表現の形が生まれる可能性もあるかと思います。                   |

社会全体としては、連携を進めていくべきと思うし、大いに賛成。だが、一方で、有用性を強調するような風潮が流行ることも懸念する。一過性にしないことも大切かと。ささやかなもの、日常のもの、とるにたらないものの中にこそ大切なことがあり、そこを大切にしたいという想いが個人的にはあるから、小さな実践を積み重ねることが大切だと思う。

#### どちらとも言えない

アートの分野によって連携が効果的な分野とそうでない分野があると思う

他分野とのコラボレーションは魅力的ですが、うまくマッチングさせて相乗効果を出すことや芸術的な方向性を共有するのはとても難しいことのように感じています。だからこそうまくいった際にはパワフルなものになるので試みてみたいという気持ちはありますが、それと同時にそういった例は稀であるとも思っています。

連携する場合、関わり合う団体、組織、個人のパワーバランス、熱量のバランスが揃っていることが最も重要だと考える。どちらかがどちらかに寄り掛かるような連携ならば、しないほうがいいと思う。そういう観点からは、以下の質問(18)の回答にもなるが、コーディネーターの存在が重要ではないかと考えている。

他分野との連携は必要であると思うが、それ以前の同分野の連携が必要だと思う

他の分野との連携のイメージが湧かない

社会課題解決のため連携の必要性は感じるが、それが活動や制作の自由度や範囲を狭めるものになる可能性があるため。

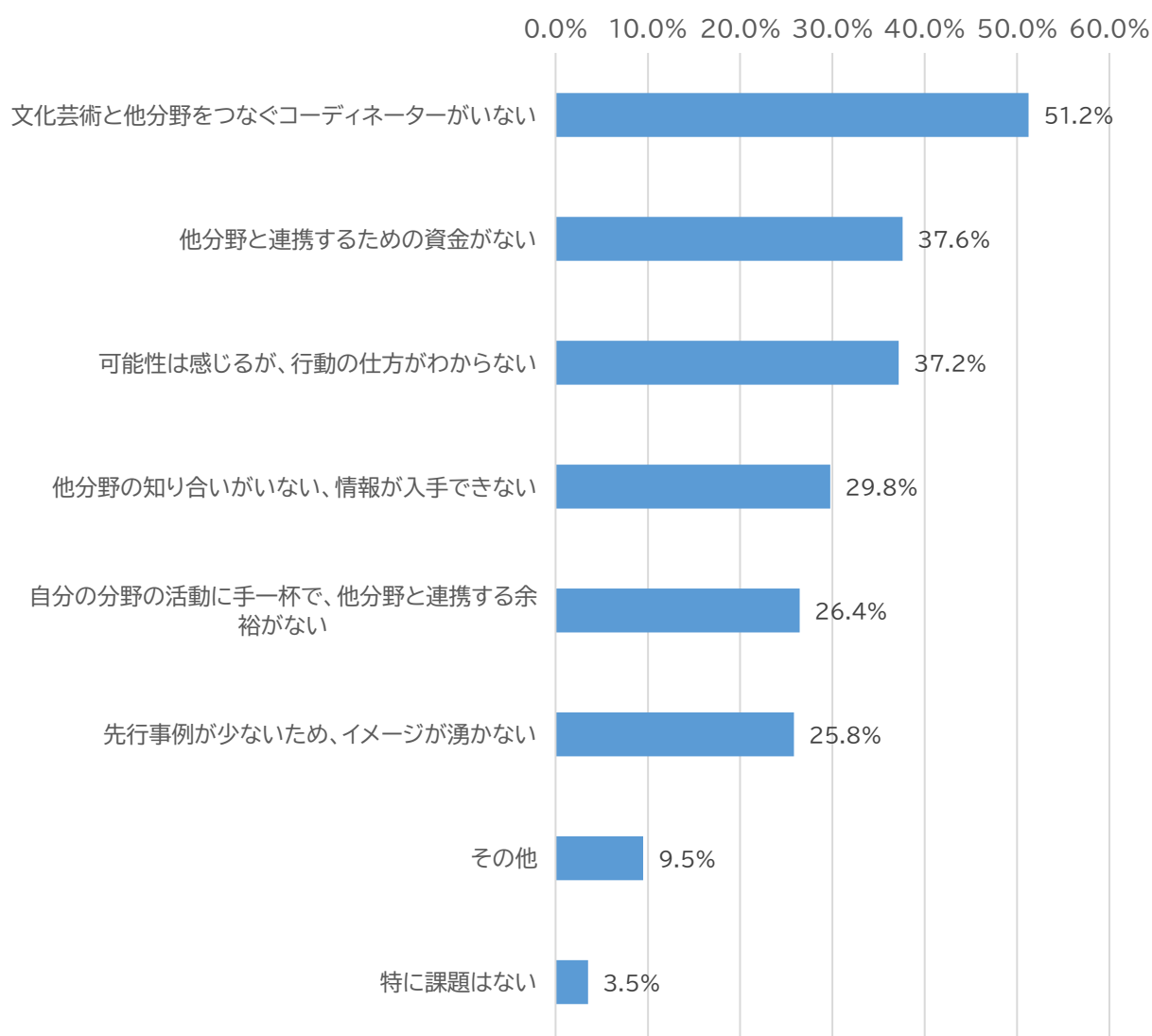
無理に連携する必要はないと思いますが、目的が合うなら連携してよいと思います。

#### 連携の必要性を感じない

今は、自分の作品を作ることで精一杯です。

18) 静岡県内で文化芸術が他分野との連携を進めるためには、どのような課題があると思いますか（複数回答可）

(n=484)

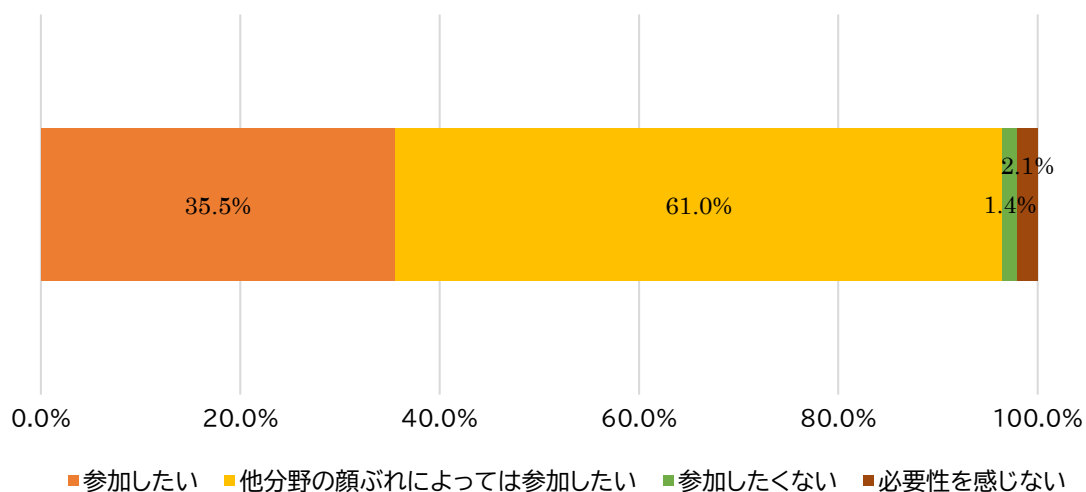


静岡県内で文化芸術が他分野との連携を進めるための課題については、「文化芸術と他分野をつなぐコーディネーターがない」が51.2%で最も多くなっています。ついで、「他分野と連携するための資金がない」が37.6%、「可能性は感じるが、行動の仕方がわからない」が37.2%となっています。



19) 今後、他分野との交流機会があれば参加したいと思いますか

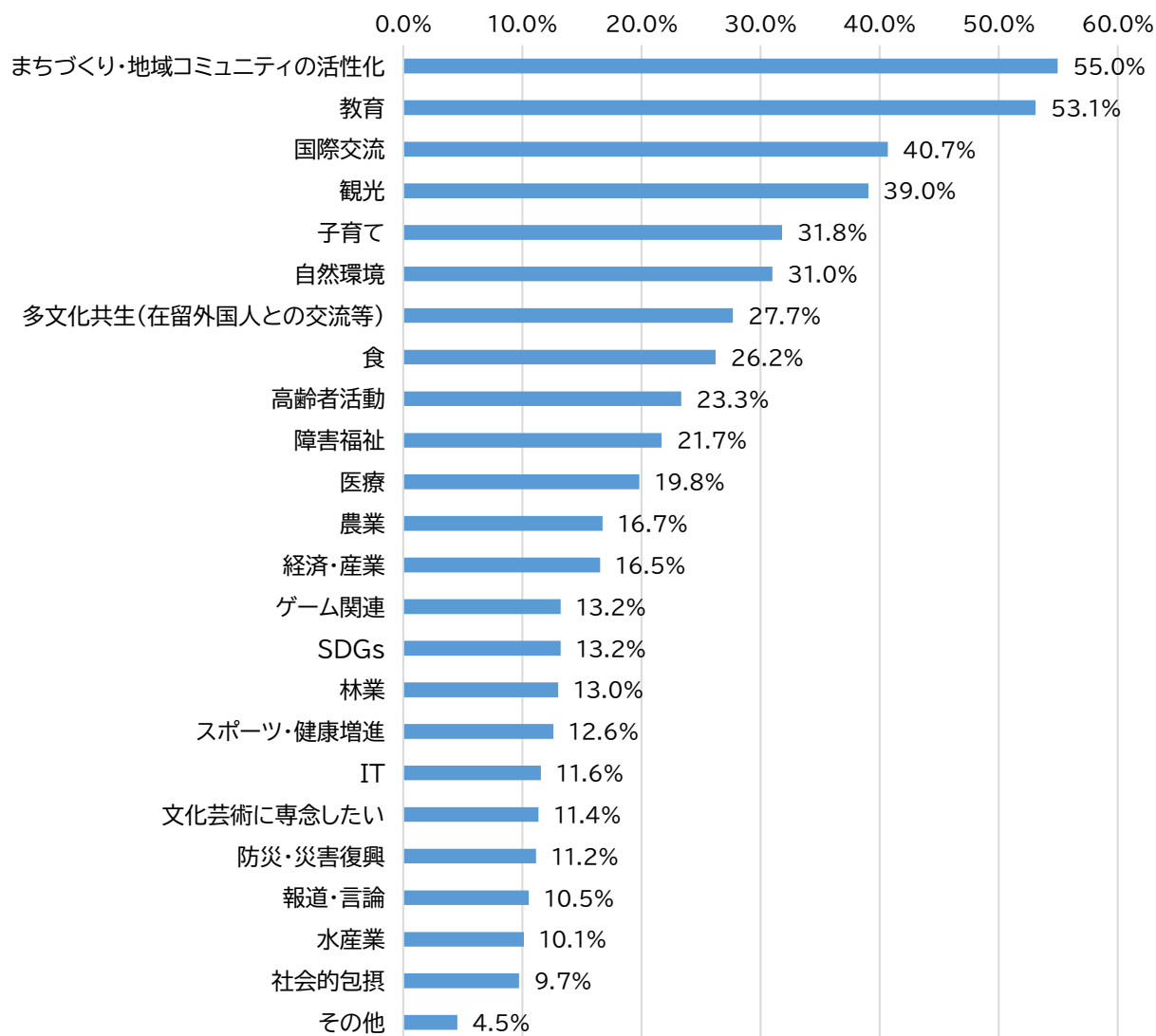
(n=484)



他分野との交流機会があれば参加したいと思うかについては、「他分野の顔ぶれによっては参加したい」が61.0%、「参加したい」が35.5%と、回答者のほとんどの方が、参加への意欲を持っています。

20) 今後、機会があれば連携してみたいと思う分野は何ですか（複数回答可）

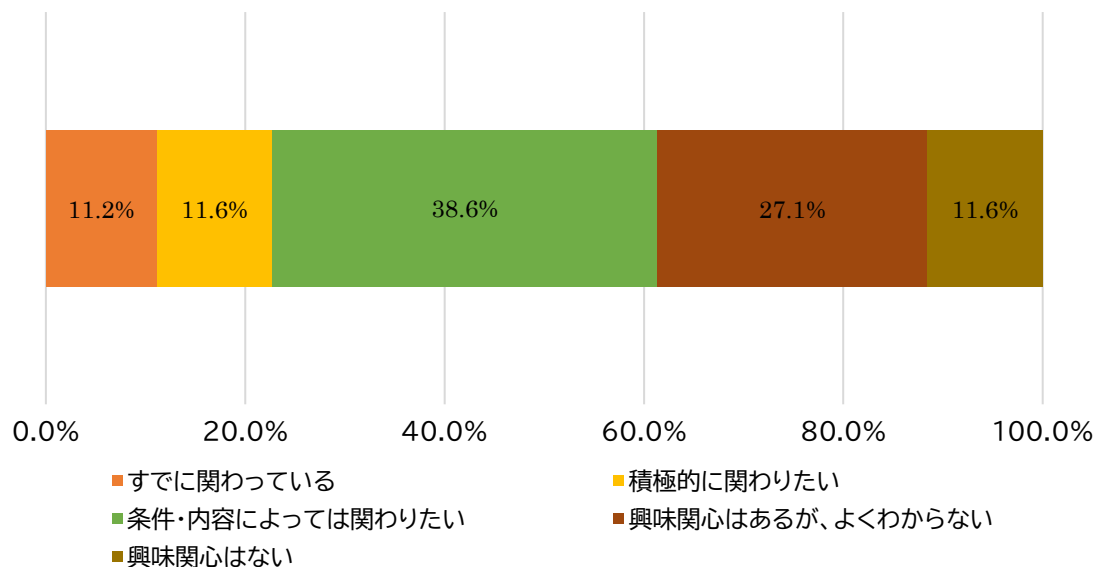
(n=484)



連携してみたいと思う分野については、「まちづくり・地域コミュニティの活性化」が55.0%で最も多くなっています。ついで、「教育」が53.1%、「国際交流」が40.7%となっています。

21) 地域部活についてどのような印象を持ちますか

(n=484)



地域部活の印象については、「条件・内容によっては関わりたい」が38.6%、「興味関心はあるが、よくわからない」が27.1%となっています。

22) 文化芸術の地域部活について可能性や課題に感じていること（自由記述、一部抜粋）

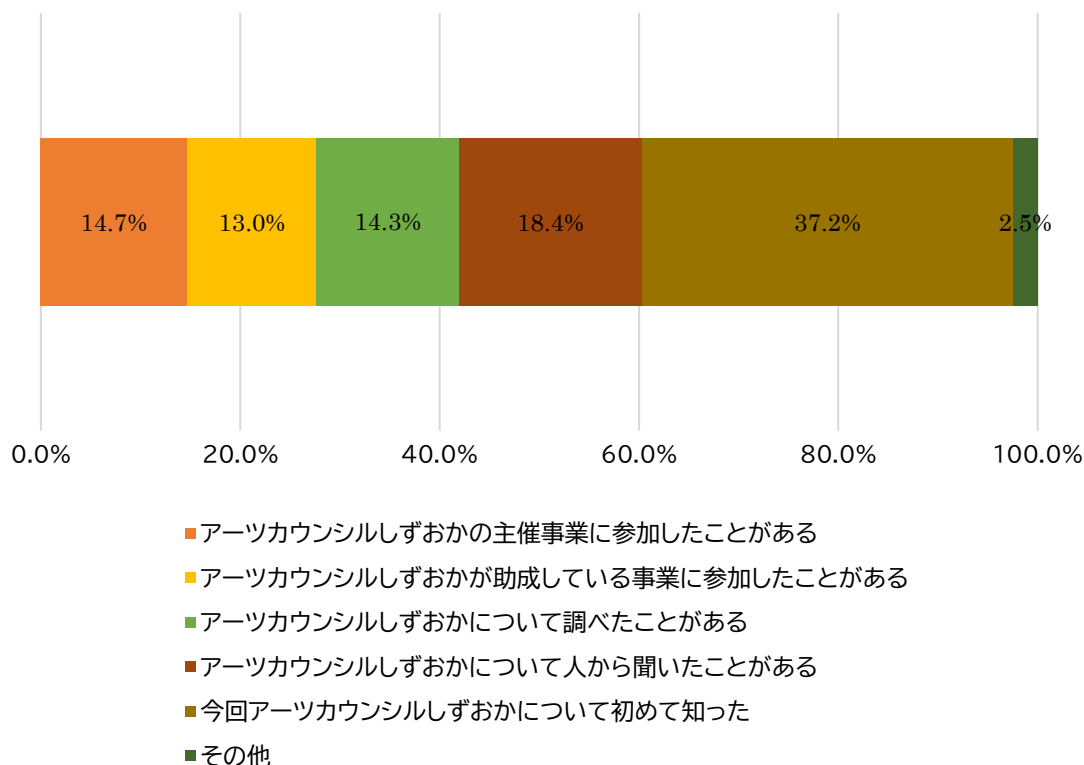
|                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青少年が芸術に関わることは生き方や世界を考える上で、その人の価値観に大きな良い影響を与えるので、非常に大切だと考えている。                                                               |
| 保護者の負担が多くなってしまう。送迎や月謝の支払いなど。                                                                                                |
| 専門知識を持つ者として貢献したい気持ちと、対価が充分支払われるのかという不安がある。                                                                                  |
| 毎週何曜日と決めなくてはならず、それと自分のスケジュールとの擦り合わせが難しい                                                                                     |
| 地域部活に関わりたいたいと考える勤労者や市民が、活動時間を確保できる社会制度の基盤を作ってほしい。                                                                           |
| 教員資格がない人材でも活用できる仕組みがあれば良いと思う。                                                                                               |
| 教育に携わらない地域人材の未成年との適切な態度。心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底は地域部活で実現可能か。                                                         |
| 文化芸術を指導する事は出来るが、学校の部活は教育の一環であり、教育的側面が強い学校の部活を地域に移行するという考え方自体に課題があると感じている。                                                   |
| 音楽の地域部活化については、地域に学校を開放すること（楽器の使用や練習場の提供）で、外部の人が入ることに対する諸問題が解決していない現状です。また指導したい専門家と、指導してもらいたい学校現場とを引き合わせるネットワークがまだ形成されていません。 |
| 全ての地域で文化芸術活動を希望する中高生をすべて指導できるほどバランスよく地域に文化芸術の専門家が在住しているとは思えないので、指導の量や質に地域格差がこれまで以上に生まれていくことを懸念している。                         |

|                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|
| 地域移行は、市民団体が中心に行うものという市町の考えがあるが、連携していかないと実現が難しいので、市町側に担当窓口を作って、相談しやすくしてほしい |
| 興味があるが、自分一人では出来ない事なので、地域部活に関わるアーティストのコミュニティがあれば、出来ることの可能性が広がりそう           |
| 地域部活には関心があるが、どういう手続で始められるのか皆目わからない。                                       |
| 初めて知ったことでアーティストがどう関わるのかイメージが難しいです。                                        |

## アートカウンシルしずおかについて

### 23) アートカウンシルしずおかについて、どの程度知っていましたか

(n=484)



アートカウンシルしずおかの認知度については、「今回アートカウンシルしずおかについて初めて知った」が37.2%と、今回のアンケートを通じてより多くの方に認知していただきました。

### 24) アートカウンシルしずおかに期待することがあれば教えてください（自由記述、一部抜粋）

|                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アーティストが芸術活動を通して地域に貢献したいという思いがあることを知っていただきたいです。                                                                                                                                                    |
| アーティストと連携して企画から一緒にプロジェクトなどを立ち上げて欲しい                                                                                                                                                               |
| ・アーティストと、アーティストを必要とする人とを繋ぐ架け橋になっていただきたいということが一番です。また、アーティストを特別な存在としてではなく一職種として(地域コミュニティに属する一人として)捉えていただくこと、またはアート関係以外のどの職種でもアーティストティックに仕事をする事ができる、というようなことを、(もし同じ考えを持っていられれば)さらに発信していただけると有り難いです。 |
| ・祝祭的な、単発で大きく打ち上げるようなアートイベントから、次のフェーズを見据えた持続可能なアートイベントの在り方や、地域に浸透し息の長い文化になるようなアートの在り方というものも探って行っていただけたらとも思います(というか一緒に探っていきたいです)。                                                                   |
| 生活に根付いたアートの活性化とアーティストが稼げる仕組みづくり                                                                                                                                                                   |
| 文化芸術の普及、社会一般での理解と関心を広め、アーティストの活動、芸術文化との関わりが特別な存在・活動ではなく、生活習慣の一部になるための種まき、橋渡しの役割に期待しています。                                                                                                          |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「アートワークやクリエイションには対価を支払うべきである」という意識の啓発を、制作者に対しても発注者に対してもお願いしたいです。<br>現状ではこの意識が低いので、自分が静岡県内でつきあう制作者も発注者もかなりかぎられており、特に県内でこの人脈を広げたり積極的に発表したりといったことをやりたいと思えないというのが正直なところです。                                                                                                                                                  |
| 難しいかとは思いますが、アーティスト個人へも、団体に対しても助成事業の充実を望みます。<br>MAW(マイクロ・アート・ワーケーション)は本当に良い事業だと思うのでぜひ続けてほしい。また、本アンケートで獲得した静岡県内に住むアーティストのネットワークを活用し、アーティスト・アーティストを支える仕事をする方達へ、静岡県内で文化芸術が根付いていくよう発表の場所とともに「仕事」へも直結できるようなシステムが欲しい。<br>現状で文化芸術にまつわる仕事や活動を希望する場合に「都内にしかない」という状況になっている。「仕事」がないと「地域」へはよほど資金的に余裕のある人でないと「拠点」を持つという発想に至らないと思っている。 |
| 助成金の申請前の面談？相談？を受けましたが、どこをどうすれば助成対象になれるかがわかりにくかった。今のままでは助成対象にならない、ということだけはわかったので諦めたが、そこをつなぐコーディネーターのような人と出会わせてくれたら活動が広がるのになと思っています。<br>少額でもいいのでもう少しハードルの低い助成事業もあるとうれしい。                                                                                                                                                  |
| 企画書、報告書の簡素化可を願っています。そのハードルが高いので、なかなか応募しようにも一歩踏み出そうと思えないです。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 音楽に対しての助成が少ないのは、音楽活動が演者の発表になりやすいからかもしれないが、どうしたら地域などと関わりをもった活動が出来て助成を頂けるのかからサポート頂きたい。<br>大きな団体ばかりではなく、個々で頑張っている活動している芸術家にもチャンスを与えたい。                                                                                                                                                                                     |
| 助成金の対象とならなかったアーティストやクリエイターに対しても、継続的に関われる機会をもっと提供していただけるとありがたいです。<br>例えば、認知度向上の為にセミナーなど(例: SNS 活用法、ツール紹介、ワークショップ)、自身の技術以外のスキルを高める場があると、多くのアーティストにとって有意義な機会になると思います。<br>また、今後の活動に生かせるフィードバックやアドバイスをいただくと、とても励みになります。<br>アーツカウンシルさんと接点を持ち続けることで、次回の助成申請時により良い提案ができるようになったり、新たなネットワークを築くきっかけになったりするのではないかと思います。             |
| 気軽に参加できる勉強会や、異業種交流会、相談会を、地域で行っていただくと嬉しいです。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| アーティスト支援。使いやすい助成金事業(年度内に複数回の募集など)。地域の基礎調査。各自治体の文化関連課との連携。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| アーツカウンシルしずおかの FB のフォローをして活動拝見しています。<br>静岡市または東部のイメージが強く、浜松にしているとアーツカウンシルと関わるというイメージが湧きません。ぜひ、西部にも目を留めていただき、西部での交流イベント開催、アーティストの発掘をしていただけたらと思います！！                                                                                                                                                                       |
| 県内各地域との交流の場をつくって欲しい。<br>助成団体だけでなく、助成から外れた団体、助成すら受けようとしていない団体、過去に助成を受けていた団体など、文化芸術に尽力している方々沢山いる。静岡県を日本一創造的な県に導くためにも、こういった地道な文化活動の担い手を視覚化し、繋ぎ、大きな渦となるような働きかけを求めたい。                                                                                                                                                        |
| ほかの都道府県での活動との比較や連携状況を教えてほしい。または交流の機会が欲しい。                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 他県や海外のアーツカウンシル的なことについての情報提供                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 静岡県のアーティストを全国に紹介して欲しい                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 静岡県独自の(首都圏や大都市の単純な模倣ではない)芸術文化・アート・デザインの創出と発信                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 芸術が生きていく上で本当に必要なのか検証してほしいです。なんの為に芸術があるのか。人間にどの様に良い効果があるのか数値なんかでも知れる展示が見てみたいです。                                                            |
| 新しいことを進めるのも大切ですが、古くから取り組まれていることにも着目し、日本ならではの歴史文化芸術を大切に、この先途絶える技術がないような仕組みも考えて欲しい。                                                         |
| アトリエ付きのシェアハウスや改修可能な空き家などがあるので、一緒にアーティスト等の誘致や企画などを行ってほしい。                                                                                  |
| 教育又高齢者福祉に直結した事業を展開してください。                                                                                                                 |
| 邦楽等、日本の伝統文化の啓蒙継承に関する活動の活発化に期待したいと思います。                                                                                                    |
| これまでもアーツカウンシルしずおかさんに大変お世話になっています。相談しても、丁寧に応えてくださり、マイクロアートワークショップでも良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。今後も、いつでも相談しやすい場所であることを望みます。引き続き、宜しくお願い致します。 |
| 貴重な機関だと思います。未来永劫続いて行くことを期待しています。                                                                                                          |
| ユニークかつ具体的な企画や活動が多く、いつも刺激を頂いています。                                                                                                          |
| 今後もこのアンケートの様な取り組みを続けていただきたいと存じます。活動全般に期待しております。                                                                                           |
| アーツカウンシルしずおかの活動をもっと知っていきたいと思っています。引き続き日々の発信や活動を楽しみに拝見させていただけたらと思います。                                                                      |
| 活用の仕方がまだわかりません。                                                                                                                           |

### 3 調査票

#### 静岡県内のアーティスト等の活動環境およびコミュニティに関するアンケート

静岡県内で活動するアーティストやクリエイターのみなさんへ

アーツカウンシルしずおかは 2021 年の設立以降、県民の主体性や創造性を引き出すアートプロジェクトを推進してきました。これは、文化芸術が人々に感動や生きる喜びをもたらす本質的な価値だけでなく、地域課題や社会課題に対しても、思いも寄らない発想で解決の糸口を見つけられる社会的な価値を持っていると考えるからです。アーツカウンシルしずおかはこの社会的価値に対する県民の関心を高めるため、各地で立ち上がった住民参加型の様々なプロジェクトを通じて、まちづくりや福祉など、社会の様々な分野にアートならではの発想を共有する機会づくりに注力してきました。

これにより、地域のアートやアーティスト等に対する理解は少しずつ広がってきたと実感していますが、文化芸術を通じたクリエイティブで魅力的な地域づくりを継続・発展していくためには、アーティストやクリエイター、その活動を支えるアートディレクターやアートマネージャー等（以下、「アーティスト等」）の存在が不可欠であり、そうした人々の活躍できるフィールドを静岡県内に拡張する必要があると考えています。

ついては、みなさんが今いる場所（地域）で表現活動が続けていくために求めていること、文化芸術以外の分野に関する関心や意見をアーツカウンシルしずおかにお寄せください。みなさんの声は、アーツカウンシルしずおかの事業への反映にとどまらず、各所への提案や提言に活かしてまいります。なお、アンケートの結果については、集計した概要を 2025 年 4 月にアーツカウンシルしずおかのホームページにて報告予定ですが、回答者が特定されるような形で公開することはありません。ぜひご協力をお願いします。

アーツカウンシルしずおか

---

#### <実施概要>

- アンケート対象者：静岡県内に拠点をおくアーティスト等
- 回収期間：2025 年 2 月 21 日（金）～3 月 24 日（月）
- 回答所要時間：15 分程度
- 本アンケートに関するお問合せ先：アーツカウンシルしずおか〈平日：9 時～17 時〉  
[TEL] 054-204-0059 [E-mail] info@artscouncil-shizuoka.jp

#### <このアンケートで扱う言葉について>

- アーティスト等：下記の分野で活動する方々を指します

##### ①文化芸術の創作発表を行う人

文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統文化、生活文化、デザイン・建築・ファッション等の作品を創作、発表を行う人

##### ②文化芸術の企画制作を行う人

文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統文化、生活文化、デザイン・建築・ファッション等に関するプロデューサー、ディレクター、キュレーター、アートマネージャー、コーディネーター、プロモーター、編集者等

- 制作拠点：日常的に作品を制作するためのスタジオやアトリエ、オフィスなどを指します



お名前

E-mail アドレス

本アンケートについてどこで知りましたか

- ☐ 浜松アーツ&クリエイション  
☐ 浜松市鴨江アートセンター  
☐ 若いアーティストを育てる演奏会実行委員会  
☐ Arts 実行委員会  
☐ シズオカオーケストラ  
☐ アルテ・プラーサ  
☐ n8wm (Maya Katsumata)  
☐ アーツカウンシルしずおか  
☐ その他 ( )

## 回答者について

1. あなたの性別をお答えください

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 無回答

2. あなたの年齢をお答えください

- ☐ 10 代 ☐ 20 代 ☐ 30 代 ☐ 40 代 ☐ 50 代 ☐ 60 代 ☐ 70 代以上

3. あなたが専門とする文化芸術活動の分野をひとつだけお答えください

- ☐ 文芸 ☐ 音楽 ☐ 美術 ☐ エ芸 ☐ 演劇 ☐ 舞踊 ☐ メディア芸術 ☐ 伝統文化 ☐ 生活文化  
☐ デザイン ☐ 建築 ☐ ファッション ☐ アートマネジメント  
☐ その他 ( )

4. 現在のお住まいをお答えください

- ☐ 浜松市 ☐ 磐田市 ☐ 掛川市 ☐ 袋井市 ☐ 湖西市 ☐ 御前崎市 ☐ 菊川市 ☐ 森町  
☐ 静岡市 ☐ 島田市 ☐ 焼津市 ☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市 ☐ 吉田町 ☐ 川根本町  
☐ 沼津市 ☐ 熱海市 ☐ 三島市 ☐ 富士宮市 ☐ 富士市 ☐ 裾野市 ☐ 御殿場市  
☐ 伊東市 ☐ 伊豆市 ☐ 伊豆の国市 ☐ 函南町 ☐ 清水町 ☐ 長泉町 ☐ 小山町  
☐ 下田市 ☐ 東伊豆町 ☐ 河津町 ☐ 南伊豆町 ☐ 松崎町 ☐ 西伊豆町  
☐ 静岡県外 ( )

5. 制作拠点があるところを選択してください（複数選択可）

・静岡県内

- ☐ 浜松市 ☐ 磐田市 ☐ 掛川市 ☐ 袋井市 ☐ 湖西市 ☐ 御前崎市 ☐ 菊川市 ☐ 森町  
☐ 静岡市 ☐ 島田市 ☐ 焼津市 ☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市 ☐ 吉田町 ☐ 川根本町  
☐ 沼津市 ☐ 熱海市 ☐ 三島市 ☐ 富士宮市 ☐ 富士市 ☐ 裾野市 ☐ 御殿場市  
☐ 伊東市 ☐ 伊豆市 ☐ 伊豆の国市 ☐ 函南町 ☐ 清水町 ☐ 長泉町 ☐ 小山町  
☐ 下田市 ☐ 東伊豆町 ☐ 河津町 ☐ 南伊豆町 ☐ 松崎町 ☐ 西伊豆町

・静岡県外

- ☐ 静岡県外の国内 ( )

☐ 国外（ ）

・その他（例）メタバース等

☐ その他（ ）

#### 6. 作品発表や公演等を行っている主な地域を選択してください（複数選択可）

・静岡県内

☐ 浜松市 ☐ 磐田市 ☐ 掛川市 ☐ 袋井市 ☐ 湖西市 ☐ 御前崎市 ☐ 菊川市 ☐ 森町

☐ 静岡市 ☐ 島田市 ☐ 焼津市 ☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市 ☐ 吉田町 ☐ 川根本町

☐ 沼津市 ☐ 熱海市 ☐ 三島市 ☐ 富士宮市 ☐ 富士市 ☐ 裾野市 ☐ 御殿場市

☐ 伊東市 ☐ 伊豆市 ☐ 伊豆の国市 ☐ 函南町 ☐ 清水町 ☐ 長泉町 ☐ 小山町

☐ 下田市 ☐ 東伊豆町 ☐ 河津町 ☐ 南伊豆町 ☐ 松崎町 ☐ 西伊豆町

・静岡県外

☐ 静岡県外の国内（ ）

☐ 国外（ ）

・その他（例）メタバース等

☐ その他（ ）

### 文化芸術活動を継続するための環境について

#### 7. 現在の環境下で文化芸術活動を続けていく際に感じている課題について教えてください（複数選択可）

☐ 制作拠点となる場所の確保が難しいこと

☐ 作品発表や公演のための場所の確保が難しいこと

☐ 作品発表や公演等の文化芸術活動に対する仕事の依頼や作品等の販路がないこと

☐ 文化芸術活動に対する評価を行う専門家がない、またはそのような組織やシステムがないこと

☐ 文化芸術活動のための時間の確保が難しいこと

☐ 文化芸術活動のための事務（企画書作成や経理処理等）ができない、またはそのための人材の確保が難しいこと

☐ 文化芸術活動のための資金の確保が難しいこと

☐ 文化芸術活動の専門性を活かした新しい仕事を生み出す機会がないこと

☐ 後進の育成ができないこと

☐ 相談できる人がいないこと

☐ 困っていることは特にない

☐ その他（ ）

#### 8. 静岡県内で活動するメリットをどのように捉えていますか（複数選択可）

☐ 制作拠点となる場所を確保しやすいから

☐ 作品発表や公演のための場所が確保しやすいから

☐ 作品発表や公演等の文化芸術活動に対する仕事の依頼を得やすいから

☐ 文化芸術活動に必要な人材、機材等の環境が整っているから

☐ 文化芸術活動の費用が安価に抑えられるから

☐ 文化芸術活動に活かせるネットワークがあるから

☐ 観客・鑑賞者が多いから

☐ 地域住民のサポートが充実しているから

☐ 静岡県内の文化芸術活動に対する支援・助成制度が充実しているから

- ☐文化芸術活動に対する評価を行う専門家がいる、またはそのような組織やシステムがあるから
- ☐文化芸術活動の専門性を活かした新しい仕事を生み出せる機会が多いから
- ☐その他（ ）
- ☐特にない

**9. 静岡県外で活動するメリットをどのように捉えていますか（複数選択可）**

- ☐制作拠点となる場所を確保しやすいから
- ☐作品発表や公演のための場所が確保しやすいから
- ☐作品発表や公演等の文化芸術活動に対する仕事の依頼を得やすいから
- ☐文化芸術活動に必要な人材、機材等の環境が整っているから
- ☐文化芸術活動の費用が安価に抑えられるから
- ☐文化芸術活動に活かせるネットワークがあるから
- ☐観客・鑑賞者が多いから
- ☐地域住民のサポートが充実しているから
- ☐他地域の文化芸術活動に対する支援・助成制度が充実しているから
- ☐文化芸術活動に対する評価を行う専門家がいる、またはそのような組織やシステムがあるから
- ☐文化芸術活動の専門性を活かした新しい仕事を生み出せる機会が多いから
- ☐その他（ ）
- ☐特にない

**10. 静岡県内で活動を継続するためにはどのようなサポートを希望しますか（複数選択可）**

- ☐作品制作ができる場所（施設・物件）の紹介
- ☐作品発表や公演ができる場所（施設・物件）の紹介
- ☐作品発表や公演の宣伝・プロモーションに関するサポート
- ☐県内の文化芸術活動者同士のネットワーク
- ☐県外の文化芸術活動者とのネットワーク
- ☐地域コミュニティとの連携・仲介
- ☐社会の他分野との連携・仲介（アーティストを必要としている依頼者・雇用者とのマッチング）
- ☐セミナー等の学びの機会の提供
- ☐文化芸術活動に関する相談支援の充実
- ☐助成金等、文化芸術活動に対する支援の提供
- ☐その他（ ）

**11. 活動拠点となる「物件」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください**

下記の①～⑨のうち優先度の高いものから3つ並べてください

- ①家から近い場所にあること
- ②職住一体の環境を整えられること（例）住居の中にスタジオ・アトリエ・オフィスの空間が確保できる状態
- ③物件の近くに親戚や友人がいること
- ④交通の便がよいこと
- ⑤家賃が安いこと
- ⑥物件が広いこと
- ⑦すでにリノベーション等がなされ、設備が整っていること
- ⑧物件が自由に使えること（例）DIY可能、原状復帰なし、音出しOKなど
- ⑨その他（ ）

12. 活動拠点となる「地域」を選ぶ上で重視することを1から3の優先順位で教えてください  
下記の①～⑩のうち優先度の高いものから3つ並べてください

- ①家から近い場所にあること
- ②物件の近くに親戚や友人がいること
- ③交通の便がよいこと
- ④近くにアーティスト等のコミュニティがあること
- ⑤近くにスタートアップやソーシャルビジネスのコミュニティがあること
- ⑥地域の人々が文化芸術活動に理解があること
- ⑦アートプロジェクトが活発な地域であること
- ⑧歴史や文化が残る地域であること
- ⑨自然豊かな地域であること
- ⑩その他（ ）

13. 制作場所・活動場所を選ぶ上でどちらを優先しますか

○物件    ○地域    ○どちらでもない

14. 活動拠点として使用できる空き家を紹介するツアーがあれば参加したいと思いますか

○ぜひ参加したい

○内容によっては参加を検討したい

○参加しない

○わからない

## 文化芸術以外の分野との連携について

アーツカウンシルしずおかでは、文化芸術と社会の様々な分野（他分野）との連携を推進し、社会課題や未活用の地域資源と向き合う上での文化芸術の力を発信していきたいと考えています。その動きに対するあなたの考えを教えてください。なお、他分野とは、観光、国際交流、多文化共生（外国人との交流等）、教育、医療、社会的包摂、SDGs、経済・産業、障害福祉、スポーツ・健康増進、子育て、高齢者活動、防災・災害復興、まちづくり・地域コミュニティの活性化、自然環境、IT、ゲーム関連、農業、林業、水産業、食、報道・言論等を指します。

### 15. これまでに他分野と連携した経験はありますか

- ☐連携したことがある
- ☐連携したことはない

### 16. 15で「連携したことがある」と答えた方に質問です。すでに連携したことのある分野は何ですか。（複数回答可）

- ☐観光 ☐国際交流 ☐多文化共生（在留外国人との交流等） ☐教育 ☐医療 ☐社会的包摂
- ☐SDGs ☐経済・産業 ☐障害福祉 ☐スポーツ・健康増進 ☐子育て ☐高齢者活動
- ☐防災・災害復興 ☐まちづくり・地域コミュニティの活性化 ☐自然環境 ☐IT ☐ゲーム関連
- ☐農業 ☐林業 ☐水産業 ☐食 ☐報道・言論
- ☐その他（ ）

### 17. 文化芸術は他分野との連携を進めていくべきだと思いますか、併せてその理由を教えてください

- ☐連携を進めていくべきだと思う
- ☐どちらとも言えない
- ☐連携の必要性を感じない

### 回答理由を教えてください（自由記述）

|  |
|--|
|  |
|--|

### 18. 静岡県内で文化芸術が他分野との連携を進めるためには、どのような課題があると思いますか（複数回答可）

- ☐先行事例が少ないため、イメージが湧かない
- ☐他分野の知り合いがいない、情報が入手できない
- ☐文化芸術と他分野をつなぐコーディネーターがいない
- ☐他分野と連携するための資金がない
- ☐可能性は感じるが、行動の仕方がわからない
- ☐自分の分野の活動に手一杯で、他分野と連携する余裕がない
- ☐その他（ ）
- ☐特に課題はない

### 19. 今後、他分野との交流機会があれば参加したいと思いますか

- ☐参加したい
- ☐参加したくない
- ☐他分野の顔ぶれによっては参加したい

☐ 必要性を感じない

20. 今後、機会があれば連携してみたいと思う分野は何ですか（複数回答可）

- ☐ 観光 ☐ 国際交流 ☐ 多文化共生（在留外国人との交流等） ☐ 教育 ☐ 医療 ☐ 社会的包摂  
☐ SDGs ☐ 経済・産業 ☐ 障害福祉 ☐ スポーツ・健康増進 ☐ 子育て ☐ 高齢者活動  
☐ 防災・災害復興 ☐ まちづくり・地域コミュニティの活性化 ☐ 自然環境 ☐ IT ☐ ゲーム関連  
☐ 農業 ☐ 林業 ☐ 水産業 ☐ 食 ☐ 報道・言論  
☐ その他（ ）  
☐ 文化芸術に専念したい

## 地域部活について

[2022 年 12 月にスポーツ庁と文化庁は、公立中学校・高校の部活動を地域に移行することを推進するためのガイドラインを策定](#)しました。アーツカウンシルしずおかでは、文化芸術の地域部活においてアーティスト等が活躍できるフィールドを広げる可能性について考えたく、ご意見をお聞かせください。

21. 地域部活についてどのような印象を持ちますか

- ☐ すでに関わっている  
☐ 積極的に関わりたい  
☐ 条件・内容によっては関わりたい  
☐ 興味関心はあるが、よくわからない  
☐ 興味関心はない

22. 文化芸術の地域部活について可能性や課題に感じていることがあれば教えてください（自由記述）

|  |
|--|
|  |
|--|

